

協伸静塗社長
加藤 一博氏



■「脱クロム」を積極PR

金属製品の化成被膜処理ラインをクロムフリー対応型に改良して一年。「まだ『脱クロム』に業界ごとの温度差を感じる場面がある。環境負荷の低減はもちろん、製品の市場競争力強化にもつながることを積極的にPRしていきたい」と語る。

自社設備では、自動静電塗装システムの増強を計画。「石油系溶剤などの使用量を可能な限り抑えるのが狙い」という。

十五年末に完成した本社屋が昨年秋、うるおい環境とやま賞の風の賞に選ばれた。「今後も環境との調和を意識した企業活動を展開したい」

* スポット